

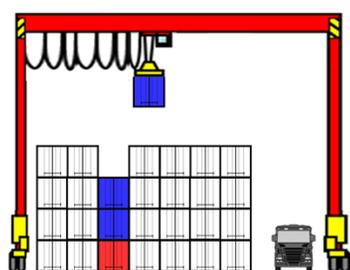
コンテナターミナル内の長期蔵置貨物が 東京港の混雑の原因の一つとなっています ～貨物の早期搬出をお願いします！～

荷主の皆様へ

- 東京2020大会において多くの競技会場が臨海部に配置され、多数の大会関係車両が走行することから、港湾関係車両との輻輳によって深刻な交通混雑が発生することが予測されています。
- こうした中、東京港のコンテナターミナル内の蔵置貨物量が、東京2020大会及びその前後の期間に増加することにより作業効率が低下し、コンテナターミナルのゲート前での交通混雑の発生や貨物の停滞による物流への影響が懸念されます。
- そのため、東京2020大会開催までに、ヤード内の長期蔵置貨物を解消し、作業効率を確保することが重要となります。

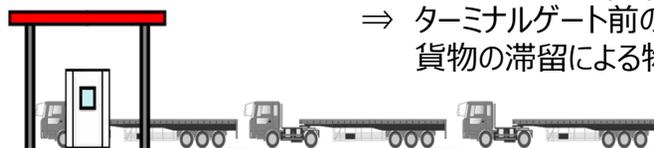
- ① 2019年12月からは、すべての貨物において、**無料保管期間（フリータイム）の延長を行わず、貨物の早期搬出にご協力をお願いします。**
- ② **デマレッジ（フリータイムを超えてコンテナヤードに留置された場合に課される超過保管料）についても、適切な運用へのご理解をお願いします。**

現状

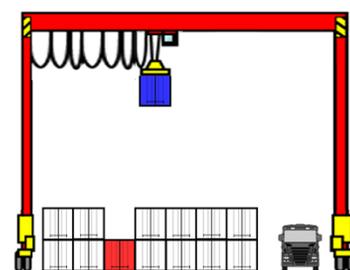


このまま東京港のコンテナターミナル内の蔵置貨物量が増加すると…

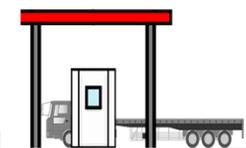
- ⇒ コンテナの多段積みが発生
- ⇒ 下段のコンテナ(赤)を取り出すのに時間がかかる
- ⇒ ターミナルゲート前の交通混雑発生
- ⇒ 貨物の滞留による物流、大会への影響



解消後



- ⇒ コンテナの段数が少ない
- ⇒ 下段のコンテナ(赤)をスムーズに取り出せる
- ⇒ ターミナルゲート前の交通混雑解消
- ⇒ 大会の成功と物流機能の維持との両立



【お問合せ先】
東京都港湾局港湾経営部振興課
S0000517@section.metro.tokyo.jp

【ホームページ】

東京2020大会に向けた東京港の取組



<https://www.kouwan.metro.tokyo.lg.jp/business/tokyo2020torikumi/>

